

科目名	特殊講義（観光発展史A）	科目コード	1600	単位数	2
担当者名	郭 倩	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

近代社会の発展とともに変化する観光のありようを、その歴史的発展の諸条件を概観し、「観光」という人間活動の各時代における特徴と変容を理解した上、観光の歴史的意義について学ぶ。

● 到達目標

- 1.社会学・経済学の視点から、前近代の「旅」と「観光」の事象を理解する。
- 2.資本主義の生成発展と近代ツーリズムの成立の関係性を把握する。
- 3.観光発展史の各時代の特徴を理解する。

● 授業内容

- 1週目 オリエンテーション（授業の進め方・観光発展史研究の意義と現状）
- 2週目 前近代資本主義社会の観光（「旅」としての観光形態）
- 3週目 商人資本の役割と海外市場の展開
- 4週目 「大航海時代」と商人たちの取引の旅
- 5週目 グランドツアーと教養修業の旅
- 6週目 伝道師たちの布教活動とアジア
- 7週目 中国の前近代の「旅」に関する事例
- 8週目 滞在型観光の誕生 温泉・海浜リゾートの事例
- 9週目 資本主義の生成と「余暇の誕生」
- 10週目 新興ブルジョワジーと近代ツーリズムの成立
- 11週目 都市に集中した労働者のレジャー活動
- 12週目 旅客鉄道の役割と観光地開発
- 13週目 観光媒体としての観光産業の展開
- 14週目 近代的ホテルの誕生と発展
- 15週目 定期航路の旅と初世界一周観光
- 16週目 期末試験+全体まとめ。ただし、やむを得ず15週目までの講義が実行できなかった場合に補講授業を実施。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：参考書やインターネット等の媒体から観光発展史の関連情報を収集するなどの事前準備を行う（60分程度）。
 復習：配布資料に基づき講義内容を整理し、復習する（60分程度）。

● 成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート・講義中の発言/グループディスカッションなど 40%
 期末テスト 60%

● 履修上の留意点

遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。
 講義内容は一貫性があるため、観光発展史Bを履修することが望ましい。

● 課題に対するフィードバックの方法

授業中の質問・課題に対するフィードバックは適宜コメントを行う。
 小レポート、期末試験に対する評価・フィードバックは次回の講義において時間を設けて行う。

● テキスト

特になし。レジュメ・配布資料を用いる。

● 参考書

ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし 現代社会におけるレジャーと旅行』法政大学出版局、3,300円

● 更新日付

2022/04/12 10:42